

千葉大学アカデミック・リンク・センター/ ALPSセミナー
2018. 3. 8

日本高等教育評価機構の第3期の 認証評価システムについて

公益財団法人 日本高等教育評価機構
伊藤敏弘

システム改定のポイント

評価システム(評価基準、評価の方法)を改定、
平成30年度から実施

新しい評価システムのポイント

1.内部質保証機能を重視

「実施大綱」の「基本的な方針」に追加し、
「基準6.内部質保証」を重点評価項目と明記する

2.特色の積極的評価・明確化

独自の基準、特記事項

3.他の質保証制度との連携

設置計画履行状況等調査や他の評価の状況を確認する

4.大学設置基準等の法令遵守事項の確認方法の簡略化

チェックシートの活用

5.大学ポートレートの活用

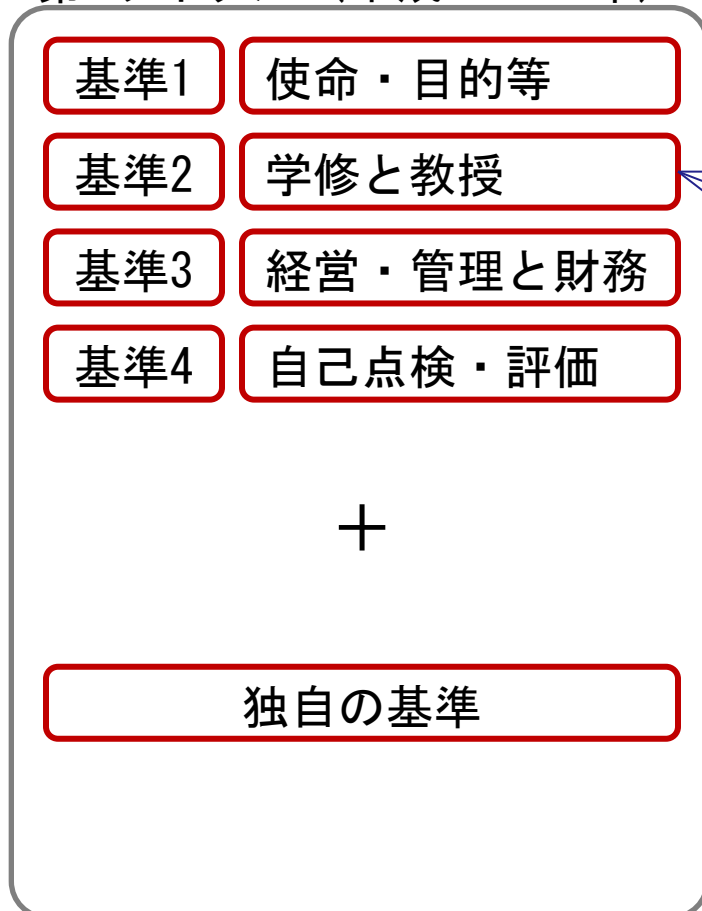
検討中

評価基準

基本的・共通的な最小限の事項として6の「基準」
 ほかに個性・特色として重視している領域は「独自の基準」「特記事項」
☆学生のための質保証

第2サイクル（平成23～29年）

第3サイクル（平成30年～）



基準項目：22 評価の視点：51

基準項目：23 評価の視点：56

基準1. 使命・目的等

領域

使命・目的、教育目的

趣旨

使命・目的の社会への明示及び計画的な実現
三つのポリシーへの反映
教育研究組織の構築

基準1. 使命・目的等

基準項目

1-1. 使命・目的及び教育目的の設定

- 1-1-① 意味・内容の具体性と明確性
- 1-1-② 簡潔な文章化
- 1-1-③ 個性・特色の明示
- 1-1-④ 変化への対応

1-2. 使命・目的及び教育目的の反映

- 1-2-① 役員、教職員の理解と支持
- 1-2-② 学内外への周知
- 1-2-③ 中長期的な計画への反映
- 1-2-④ 三つのポリシーへの反映
- 1-2-⑤ 教育研究組織の構成との整合性

基準2. 学生

領域

学生の受入れ、学生の支援、学修環境、
学生の意見等への対応

趣旨

アドミッション・ポリシーに基づいた学生の受入れ
組織的な学生支援
学修環境の整備
学生の意見・要望の把握と対応

基準2. 学生

基準項目

- 2-1. 学生の受入れ
- 2-2. 学修支援
- 2-3. キャリア支援
- 2-4. 学生サービス
- 2-5. 学修環境の整備
- 2-6. 学生の意見・要望への対応

2-1. 学生の受入れ

- 2-1-① 教育目的を踏まえたアドミッション・ポリシーの策定と周知
- 2-1-② アドミッション・ポリシーに沿った入学者受入れの実施とその検証
- 2-1-③ 入学定員に沿った適切な学生受入れ数の維持

留意点

- ★教育目的を踏まえ、アドミッション・ポリシーを定め、周知しているか。
- ★アドミッション・ポリシーに沿って、入学者選抜などを公正かつ妥当な方法により、適切な体制のもとに運用しているか。
- ★入試問題の作成及び管理は、大学が自ら行っているか。
- ★教育を行う環境の確保のため、入学定員及び収容定員に沿って在籍学生を適切に確保しているか。

2-2.学修支援

- 2-2-① 教員と職員等の協働をはじめとする学修支援体制の整備
- 2-2-② TA(Teaching Assistant)等の活用をはじめとする学修支援の充実

留意点

- ★教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を適切に整備・運営しているか。
- ★障がいのある学生への配慮を行っているか。
- ★オフィスアワー制度を全学的に実施しているか。
- ★教員の教育活動を支援するために、TAなどを適切に活用しているか。
- ★中途退学、休学及び留年への対応策を行っているか。

2-3.キャリア支援

2-3-① 教育課程内外を通じての社会的・職業的自立に関する支援体制の整備

留意点

- ★インターンシップなどを含め、キャリア教育のための支援体制を整備しているか。
- ★就職・進学に対する相談・助言体制を整備し、適切に運営しているか。

2-4.学生サービス

2-4-① 学生生活の安定のための支援

留意点

- ★学生サービス、厚生補導のための組織を設置し、適切に機能させているか。
- ★奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っているか。
- ★学生の課外活動への支援を適切に行っているか。
- ★学生の心身に関する健康相談、心的支援、生活相談などを適切に行っているか。

2-5.学修環境の整備

- 2-5-① 校地、校舎等の学修環境の整備と適切な運営・管理
- 2-5-② 実習施設、図書館等の有効活用
- 2-5-③ バリアフリーをはじめとする施設・設備の利便性
- 2-5-④ 授業を行う学生数の適切な管理

留意点

- ★教育目的の達成のため、校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、附属施設などの施設設備を適切に整備し、かつ有効に活用しているか。
- ★教育目的の達成のために、快適な学修環境を整備し、有効に活用しているか。
- ★適切な規模の図書館を有しており、かつ、十分な学術情報資料を確保しているか。開館時間を含め図書館を十分に利用できる環境を整備しているか。
- ★教育目的の達成のため、コンピュータなどのIT施設を適切に整備しているか。
- ★施設・設備の安全性(耐震など)を確保しているか。
- ★施設・設備の利便性(バリアフリーなど)に配慮しているか。
- ★授業を行う学生数(クラスサイズなど)は教育効果を十分上げられるような人数となっているか。

2-6.学生の意見・要望への対応

- 2-6-① 学修支援に関する学生の意見・要望の把握・分析と検討結果の活用
- 2-6-② 心身に関する健康相談、経済的支援をはじめとする学生生活に関する学生の意見・要望の把握・分析と検討結果の活用
- 2-6-③ 学修環境に関する学生の意見・要望の把握・分析と検討結果の活用

留意点

- ★学生への学修支援に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学修支援の体制改善に反映させているか。
- ★学生生活に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、学生生活の改善に反映しているか。
- ★施設・設備に対する学生の意見などをくみ上げるシステムを適切に整備し、施設・設備の改善に反映しているか。

基準3. 教育課程

領域

卒業認定、教育課程、学修成果

趣旨

ディプロマ・ポリシーに基づいた卒業・修了の認定
カリキュラム・ポリシーに基づいた教育課程の編成及び実施
教育の質向上のための学修成果の活用

基準3. 教育課程

基準項目

- 3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定
- 3-2. 教育課程及び教授方法
- 3-3. 学修成果の点検・評価

3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定

- 3-1-① 教育目的を踏まえたディプロマ・ポリシーの策定と周知
- 3-1-② ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等の策定と周知
- 3-1-③ 単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等の厳正な適用

留意点

★教育目的を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを定め、周知しているか。

★ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準を適切に定め、厳正に適用しているか。

3-2.教育課程及び教授方法

- 3-2-① カリキュラム・ポリシーの策定と周知
- 3-2-② カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーとの一貫性
- 3-2-③ カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程の体系的編成
- 3-2-④ 教養教育の実施
- 3-2-⑤ 教授方法の工夫・開発と効果的な実施

留意点

- ★教育目的を踏まえ、カリキュラム・ポリシーを定め、周知しているか。
- ★カリキュラム・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーとの一貫性が確保されているか。
- ★カリキュラム・ポリシーに即した体系的な教育課程を編成し、実施しているか。
- ★シラバスを適切に整備しているか。
- ★教養教育を適切に実施しているか。
- ★アクティブ・ラーニングなど、授業内容・方法に工夫をしているか。
- ★教授方法の改善を進めるために組織体制を整備し、運用しているか。
- ★履修登録単位数の上限の適切な設定など、単位制度の実質を保つための工夫が行われているか。

3-3.学修成果の点検・評価

- 3-3-① 三つのポリシーを踏まえた学修成果の点検・評価方法の確立とその運用
- 3-3-② 教育内容・方法及び学修指導等の改善へ向けての学修成果の点検・評価結果のフィードバック

留意点

- ★学生の学修状況・資格取得状況・就職状況の調査、学生の意識調査、就職先の企業アンケートなどにより、学修成果を点検・評価しているか。
- ★学修成果の点検・評価の結果を教育内容・方法及び学修指導の改善にフィードバックしているか。

基準4. 教員・職員

領域

教学マネジメント、教員・職員配置、研修、研究支援

趣旨

学長の適切なリーダーシップ

効果的な教職員の配置

FDやSDを通じた教職員の職能開発

研究活動の支援体制

※職員とは、事務職員のほか、教授等の教員や学長等の大学
執行部、技術職員等を含む

基準4. 教員・職員

基準項目

- 4-1. 教学マネジメントの機能性
- 4-2. 教員の配置・職能開発等
- 4-3. 職員の研修
- 4-4. 研究支援

4-1. 教学マネジメントの機能性

- 4-1-① 大学の意思決定と教学マネジメントにおける学長の適切なリーダーシップの確立・発揮
- 4-1-② 権限の適切な分散と責任の明確化に配慮した教学マネジメントの構築
- 4-1-③ 職員の配置と役割の明確化などによる教学マネジメントの機能性

留意点

- ★学長がリーダーシップを適切に発揮するための補佐体制が整備されているか。
- ★副学長を置く場合、その組織上の位置付け及び役割が明確になっており、機能しているか。
- ★教授会などの組織上の位置付け及び役割が明確になっており、機能しているか。
- ★教授会などに意見を聴くことを必要とする教育研究に関する重要な事項を学長があらかじめ定め、周知しているか。
- ★大学の意思決定の権限と責任が明確になっているか。
- ★使命・目的の達成のため、教学マネジメントを構築しているか。
- ★大学の意思決定及び教学マネジメントが大学の使命・目的に沿って、適切に行われているか。
- ★教学マネジメントの遂行に必要な職員を適切に配置し、役割を明確化しているか。

4-2.教員の配置・職能開発等

- 4-2-① 教育目的及び教育課程に即した教員の採用・昇任等による教員の確保と配置
- 4-2-② FD(Faculty Development)をはじめとする教育内容・方法等の改善の工夫・開発と効果的な実施

留意点

- ★大学及び大学院に必要な専任教員を確保し、適切に配置しているか。
- ★教員の採用・昇任の方針に基づく規則を定め、かつ適切に運用しているか。
- ★ FD、その他教員研修の組織的な実施とその見直しを行っているか。

4-3.職員の研修

4-3-① SD(Staff Development)をはじめとする大学運営に関わる職員の資
質・能力向上への取組み

留意点

★職員の資質・能力向上のための研修などの組織的な実施とその見直しを
行っているか。

4-4.研究支援

- 4-4-① 研究環境の整備と適切な運営・管理
- 4-4-② 研究倫理の確立と厳正な運用
- 4-4-③ 研究活動への資源の配分

留意点

- ★快適な研究環境を整備し、有効に活用しているか。
- ★研究倫理に関する規則を整備し、厳正に運用しているか。
- ★研究活動への資源配分に関する規則を整備し、設備などの物的支援とRA(Research Assistant)などの人的支援を行っているか。
- ★研究活動のための外部資金の導入の努力を行っているか。

基準5. 経営・管理と財務

領域

経営の規律、理事会、管理運営、財務基盤と収支、会計

趣旨

法人全体の中長期的な計画の策定及び執行

理事会の機能性

管理運営の円滑化と相互チェック

計画に基づく財務基盤の確立

適切な会計処理

基準5. 経営・管理と財務

基準項目

5-1. 経営の規律と誠実性

- 5-1-① 経営の規律と誠実性の維持
- 5-1-② 使命・目的の実現への継続的努力
- 5-1-③ 環境保全、人権、安全への配慮

5-2. 理事会の機能

- 5-2-① 使命・目的の達成に向けて意思決定ができる体制の整備とその機能性

5-3. 管理運営の円滑化と相互チェック

- 5-3-① 法人及び大学の各管理運営機関の意思決定の円滑化
- 5-3-② 法人及び大学の各管理運営機関の相互チェックの機能性

基準5. 経営・管理と財務

基準項目

5-4. 財務基盤と収支

- 5-4-① 中長期的な計画に基づく適切な財務運営の確立
- 5-4-② 安定した財務基盤の確立と収支バランスの確保

5-5. 会計

- 5-5-① 会計処理の適正な実施
- 5-5-② 会計監査の体制整備と厳正な実施

基準6. 内部質保証

領域

組織体制、自己点検・評価、PDCAサイクル

趣旨

恒常的な内部質保証体制の整備
自主的・自律的な自己点検・評価による内部質保証
内部質保証を機能させるための仕組み

基準6. 内部質保証

基準項目

- 6-1. 内部質保証の組織体制
- 6-2. 内部質保証のための自己点検・評価
- 6-3. 内部質保証の機能性

6-1.内部質保証の組織体制

6-1-①内部質保証のための組織の整備、責任体制の確立

留意点

★内部質保証のための恒常的な組織体制を整備しているか。

★内部質保証のための責任体制が明確になっているか。

6-2.内部質保証のための自己点検・評価

- 6-2-① 内部質保証のための自主的・自律的な自己点検・評価の実施とその結果の共有
- 6-2-② IR(Institutional Research)などを活用した十分な調査・データの収集と分析

留意点

- ★内部質保証のための自主的・自律的な自己点検・評価をどのように行っているか。
- ★エビデンスに基づく、自己点検・評価を定期的に実施しているか。
- ★現状把握のための十分な調査・データの収集と分析を行える体制を整備しているか。

6-3.内部質保証の機能性

6-3-① 内部質保証のための学部、学科、研究科等と大学全体のPDCAサイクルの仕組みの確立とその機能性

留意点

- ★三つのポリシーを起点とした内部質保証が行われ、その結果が教育の改善・向上に反映されているか。
- ★自己点検・評価、認証評価及び設置計画履行状況等調査などの結果の活用により、中長期的な計画を踏まえた大学運営の改善・向上を図るなど、内部質保証の仕組みが機能しているか。

独自の基準設定と自己点検・評価

基準A. ○○○○

基準B. ○○○○

6基準以外に、個性・特色として重視している領域

基準例

- ・社会貢献
- ・国際協力
- ・研究活動 など

独自基準のほかに、大学が特筆したい特色ある教育
研究活動や事業等を三つまで記述

ご清聴ありがとうございました